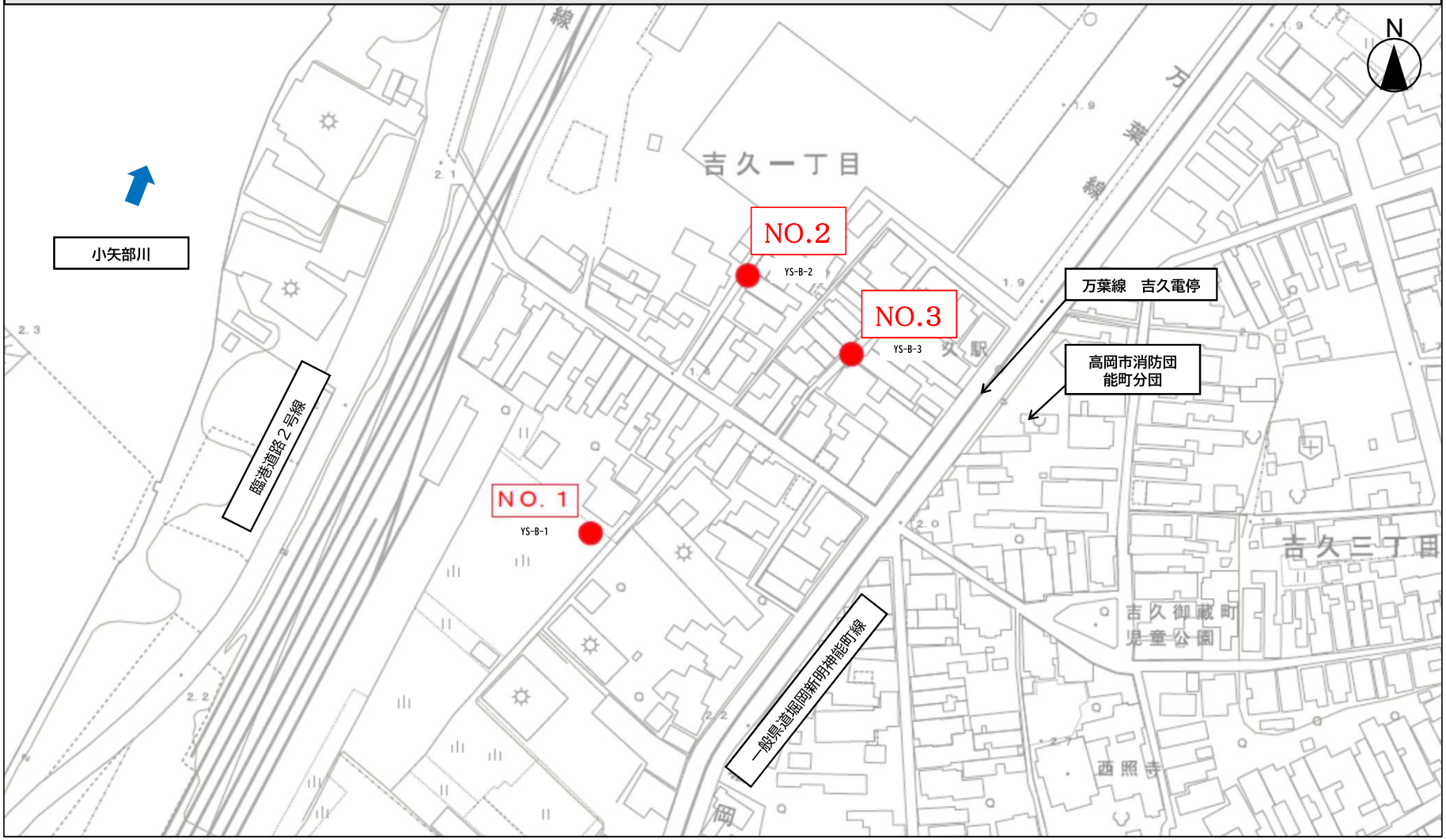
吉 久 地 区　ボーリング調査位置図

NO．１　　令和６年８月13日 掲載
NO．２～３　令和７年１月31日 掲載



NO.1

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　高岡市液状化対策検討業務委託

事業または工事名

調査目的及び調査対象

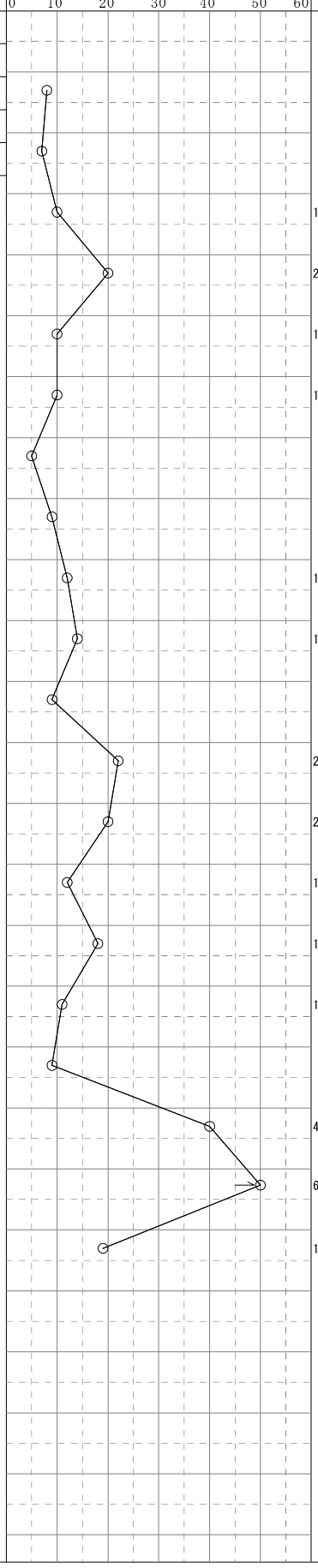
ボーリング名	YS-B-1	調査位置	富山県高岡市吉久1丁目地先			北緯	36° 46′ 54.022″		
発注機関	富山県　高岡市			調査期間	2024年06月04日～2024年06月11日	東経	137° 03′ 18.264″		
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 1.32m	角度	180° 上 下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：TOHO D-1
総削孔長	20.45m								エンジン：ヤンマーNFD12-K　ポンプ：TOHO　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	0.92	0.40		埋土（砂質シルト）		暗灰			不均質なシルトを主体とする。含水やや少なく、やや軟質である。全体的に有機物を混入する。	6/8 0.50
	0.72	0.60		埋土（礫混じり砂）		暗灰			粒径不均一である。	6/4 0.60
1									粒径不均一な細砂～中砂を主体とする。含水やや多く、緩い。	6/7 0.60
2				シルト混じり砂		暗灰	rd2		GL-1.45～-1.60m付近、全体的にシルト分を混入する。	6/10 0.70
3	-2.13	3.45								6/11 0.84
4	-3.08	4.40		礫混じり砂		暗灰	rd3		粒径不均一な細砂～粗砂を主体とする。φ2～20mmの円～亜円礫を混入する。含水やや少なく、緩い。	
	-3.23	4.55		シルト混じり砂		暗灰	rd3		粒径不均一な細砂～中砂を主体とする。含水やや少なく、緩い。	
	-3.38	4.70				暗灰				
	-3.53	4.85		砂混じり粘土		暗灰			均質な粘土を主体とする。粘性弱い。含水やや少なく、やや硬質である。	
5	-4.23	5.55		シルト混じり砂		暗灰		rc4	粒径不均一な中砂を主体とする。含水やや少なく、やや締まっている。所々、φ15mmの亜円礫を混入する。	
				砂質粘土						
6	-5.28	6.60		シルト質砂		暗灰	rd3		不均質なシルトを主体とする。含水少なく、やや硬質である。	
									粒径均一な微細砂を主体とする。含水少なく、やや締まっている。	
7				砂質シルト		暗灰		rc3	不均質な粘土を主体とする。含水やや少なく、やや緩い。全体的に粘土分を混入する。GL-8.00～-8.40m付近、粘性が強い。	
8	-7.08	8.40								
9									粒径不均一な微細砂～細砂を主体とする。含水やや少なく、やや締まっている。	
10				シルト質砂		暗灰	rd3		GL-9.70～-9.80m付近、粘性が強い粘土を挟む。GL-10.00～-10.45m付近、粒径が大きくなり、細砂～中砂を主体とする。	
11										
12	-10.68	12.00								
13	-12.13	13.45		シルト質砂		暗灰	rd3		粒径不均一な細砂～中砂を主体とする。含水やや少なく、やや締まっている。GL-13.00～-13.45m付近、シルト分を多く混入する。	
14									均質なシルト主体とする。含水やや少なく、硬質である。所々、粘土を挟む。GL-14.45～-15.00m付近、層状に砂を挟む。	
15				砂質シルト		暗灰		rc4	GL-15.00～-15.45m付近、全体的に細砂を多く混入する。GL-15.45～-15.75m付近、有機物を混入する。	
16										
17	-16.18	17.50								
18	-17.58	18.90		シルト質砂		暗灰	rd4		粒径不均一な微細砂～細砂を主体とする。含水やや少なく、やや緩い。全体的ににシルト分を混入する。GL-18.45m以深、細砂が主体となる。	
19	-17.68	19.00		砂混じりシルト		暗灰			均質なシルトを主体とする。含水やや少なく、硬質である。所々、シルトを挟む。	
	-18.28	19.60		シルト混じり砂		暗灰	rd5		粒径不均一な細砂～中砂を主体とする。含水やや少なく、締まっている。GL-19.38～-19.60m付近、全体的にシルト分を混入する。	
20	-18.68	20.00		砂質粘土		暗灰				
	-19.13	20.45		シルト混じり砂		暗灰	rd3		不均質な粘土を主体とする。含水少なく、硬質である。	
21									粒径不均一な細砂～中砂を主体とする。含水やや少なく、やや緩い。	
22										
23										
24										
25										

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	8.0	2	3	3	8/300		
1.45							
2.15	7.0	2	2	3	7/300		
2.45							
3.15	10.0	3	3	4	10/300		
3.45							
4.15	20.0	6	7	7	20/300		
4.45							
5.15	10.0	4	3	3	10/300		
5.45							
6.15	10.0	3	3	4	10/300		
6.45							
7.15	5.0	1	2	2	5/300		
7.45							
8.15	9.0	1	2	6	9/300		
8.45							
9.15	12.0	3	4	5	12/300		
9.45							
10.15	14.0	3	5	6	14/300		
10.45							
11.15	9.0	2	2	5	9/300		
11.45							
12.15	22.0	5	7	10	22/300		
12.45							
13.15	20.0	5	7	8	20/300		
13.45							
14.15	12.0	3	4	5	12/300		
14.45							
15.15	18.0	5	6	7	18/300		
15.45							
16.15	11.0	3	3	5	11/300		
16.45							
17.15	9.0	3	3	3	9/300		
17.45							
18.15	40.0	9	15	16	40/300		
18.45							
19.15	65.2	15	27	8/30	50/230	230	
19.38							
20.15	19.0	4	7	8	19/300		
20.45							

深度－N値図



試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15	YS1-D-1	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		6/4
1.45					
2.15	YS1-D-2	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
2.45					
3.15	YS1-D-3	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		6/6
3.45					
4.15	YS1-D-4	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
4.45					
5.15	YS1-D-5	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		
5.45					
6.15	YS1-D-6	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		6/7
6.45					
7.15	YS1-D-7	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		
7.45					
8.15	YS1-D-8	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		
8.45					
9.15	YS1-D-9	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
9.45					
10.15	YS1-D-10	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
10.45					
11.15	YS1-D-11	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		6/8
11.45					
12.15	YS1-D-12	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
12.45					
13.15	YS1-D-13	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
13.45					
14.15	YS1-D-14	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		
14.45					
15.15	YS1-D-15	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
15.45					
16.15	YS1-D-16	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		6/10
16.45					
17.15	YS1-D-17	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降 液塑		
17.45					
18.15	YS1-D-18	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
18.45					
19.15	YS1-D-19	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
19.38					6/11
20.15	YS1-D-20	－	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
20.45					

NO.2

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

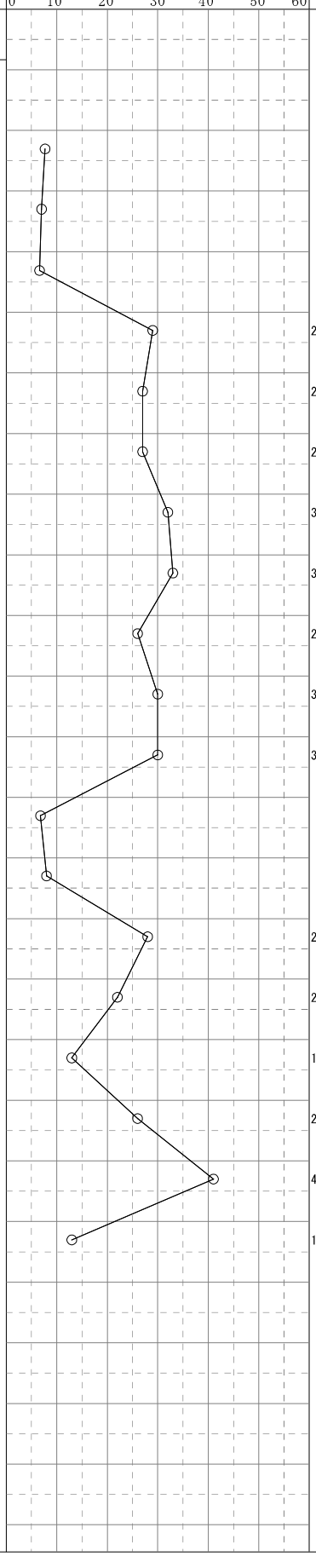
調　　査　　名　高岡市液状化対策検討業務委託

事業または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	YS-B-2	調査位置	富山県高岡市吉久1丁目地先			北緯	36° 46′ 56.908″
発注機関	富山県　高岡市			調査期間	2024年11月21日～2024年11月25日	東経	137° 03′ 20.189″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 1.52m	角度	180° 上 下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM　YBM-05		
総削孔長	20.45m								エンジン	YANMAR　NFD10-M	ポンプ	YBM　GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	0.92	0.60		盛土（砂礫）		暗褐			表層はアスファルトが4cm、以深、φ50mm以下の円礫が主体である。 GL-0.35m以深、レンガ片が混入する。	11/21 0.83
1	0.47	1.05		砂質シルト		暗灰			全体に微細砂が混入する。 含水は多く、粘性は弱い。 GL-0.80～-0.90m間、シルト混じり細砂を挟む。	
2				礫混じり砂		暗灰～灰	rd2		比較的粒子均一な細砂である。 含水は多い。 GL-1.50m以深、灰色を呈し、若干の中粗砂が混入する。 GL-2.00m付近、φ20mm程度の亜角礫が混入する。 不規則に細砂や粗砂が混入し、全体的に粒子は不均一である。 稀にφ2～20mm程度の円～亜鉛礫が混入する。 含水は中位である。 GL-3.40m以深、淡褐～茶褐色を呈する。 GL-4.00m付近、粗砂の割合が多い。	
3										
4	-2.98	4.50								
5				中砂		淡褐灰～暗灰	rd3		GL-4.70～-5.05m間、φ2～20mm程度の円～亜円礫が混入する。	
6										
7									GL-6.95～-7.25m間、φ2～10mm程度の円～亜円礫が混入する。 下部は、粒子均一な細砂を所々に挟む。	
8	-6.93	8.45								
9				細砂		暗灰	rd4		比較的粒子均一な細砂である。 含水は中位である。	
10										
11										
12									GL-11.80～-12.10m間、中～粗砂が多く、所々にφ5mm以下の礫が密集して混入する。 GL-12.80m付近、粘性土を挟む。 GL-12.85～-13.10m間、φ2～3mm程度の礫が混じる粗砂を挟む。	
13	-11.58	13.10								
14	-13.13	14.65		砂混じり粘土		暗灰		rc3	含水は中位で、粘性はやや強い。有機質シルトをブロック状に混入する。 不規則にシルト分が多く混入する。 粘性は強い。部分的に有機分を含み、黒灰色を呈する。 粘性は強く、均質である。	
15				細砂		暗灰	rd3		砂の粒子は細かく、ほぼ均一である。 所々に、粒子不均一な細砂を薄く挟む。	
16	-14.93	16.45								
17	-16.03	17.55		砂混じり粘土		暗灰		rc4	含水はやや少なく、粘性は弱い。 不規則に微細砂が多く混入する。 部分的に黒灰色を呈し、有機臭を伴う。 GL-16.75～-17.00m間、細砂を挟む。	
18				細砂		暗灰	rd4		微細砂が主体である。 所々に、シルトを薄く挟む。 GL-18.15～-19.00m間、砂の粒子は均一である。 GL-19.00m以深、微細砂と細砂の互層状である。 GL-19.25m付近、腐植物を少量混入する。 GL-19.60～-19.70m間、粘性土を挟む。	
19										
20	-18.43	19.95								
	-18.93	20.45		砂混じり粘土		暗灰		rc4	粘性はやや弱い。 GL-20.30～-20.35m間、細砂を挟む。	
21										
22										
23										
24										
25										



標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
		2.15	2/90	3/120	3	8/310		
	7.7	2.46						
		3.15	3	2	2	7/300		
	7.0	3.45						
		4.15	2/110	2/90	3/120	7/320		
	6.6	4.47						
		5.15	8	11	10	29/300		
	29.0	5.45						
		6.15	7	9	11	27/300		
	27.0	6.45						
		7.15	8	9	10	27/300		
	27.0	7.45						
		8.15	10	11	11	32/300		
	32.0	8.45						
		9.15	10	11	12	33/300		
	33.0	9.45						
		10.15	8	9	9	26/300		
	26.0	10.45						
		11.15	8	10	12	30/300		
	30.0	11.45						
		12.15	8	10	12	30/300		
	30.0	12.45						
		13.15	2/120	2/90	3	7/310		
	6.8	13.46						
		14.15	2/90	3/110	3	8/300		
	8.0	14.45						
		15.15	8	9	11	28/300		
	28.0	15.45						
		16.15	8	8	6	22/300		
	22.0	16.45						
		17.15	4	5	4	13/300		
	13.0	17.45						
		18.15	7	9	10	26/300		
	26.0	18.45						
		19.15	12	14	15	41/300		
	41.0	19.45						
		20.15	4	5	4	13/300		
	13.0	20.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
2.15	YS2-D-2	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		11/21
2.46					
3.15	YS2-D-3	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
3.45					
4.15	YS2-D-4	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		11/22
4.47					
5.15	YS2-D-5	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
5.45					
6.15	YS2-D-6	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
6.45					
7.15	YS2-D-7	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
7.45					
8.15	YS2-D-8	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
8.45					
9.15	YS2-D-9	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		11/23
9.45					
10.15	YS2-D-10	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
10.45					
11.15	YS2-D-11	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
11.45					
12.15	YS2-D-12	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
12.45					
13.15	YS2-D-13	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降 液塑		
13.46					
14.15	YS2-D-14	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降 液塑		
14.45					
15.15	YS2-D-15	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
15.45					
16.15	YS2-D-16	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
16.45					
17.15	YS2-D-17	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降 液塑		11/25
17.45					
18.15	YS2-D-18	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
18.45					
19.15	YS2-D-19	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降		
19.45					
20.15	YS2-D-20	-	土粒子 含水比 ふるい 粒沈降 液塑		
20.45					

NO.3

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　高岡市液状化対策検討業務委託

事業または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	YS-B-3	調査位置	富山県高岡市吉久1丁目地先			北　緯	36° 46′ 55.964″
発注機関	富山県　高岡市			調査期間	2024年11月14日～2024年11月21日	東　経	137° 03′ 21.420″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 1.80m	角度	180° 上 下 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	TOHO　DO-D
総削孔長	20.45m								エンジン	ヤンマーTF-90-VE	ポンプ	共立　AHP35B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	0.70	1.10		盛土（礫混じり砂）		黄褐灰～赤褐			表層はアスファルト4cm、砕石6cmである。 砂は細～中砂で、所々に礫やコンクリート片が混入する。 GL-0.35～-0.70m間、赤褐色の硬質な礫混じりシルトを挟む。	11/18 1.10
2	-0.35	2.15		細砂		暗灰～茶褐	rd1		GL-1.10～-1.30m間、砂質シルトを挟む。 粒子均一な細砂で、含水は非常に多い。 φ2～5mm程度の礫を少量混入する。	
3	-2.20	4.00		砂		暗灰	rd2		砂は細～中砂で、粒子は不均一である。 含水は非常に多い。 GL-2.50～-3.65m間、茶褐～褐色を呈する。 所々にφ2～5mm程度の礫が混入する。 GL-3.65～-3.80m間、粗砂を挟む。 GL-3.85～-4.00m間、シルトを挟む。	
4	-4.90	6.70		礫混じり砂		暗灰	rd3		砂は中～粗砂で、粒子は不均一である。 全体にφ2～10mm程度の亜円～亜角礫が多く混入する。 GL-6.00m付近、シルト分が多く混入する。	
7	-10.65	12.45		シルト質細砂		暗灰	rd2		砂の粒子は細かく、比較的均一である。 含水は非常に多い。 GL-8.00m付近、シルトを薄く挟む。 GL-9.00m付近、有機物が混じるシルトを挟む。 GL-9.85～-10.00m間、砂質シルトを挟む。 GL-10.55m付近、粗砂を薄く挟む。 GL-10.60m付近、シルトを薄く挟む。	
13	-18.65	20.45		シルト混じり細砂		暗灰	rd3		砂の粒子は微細である。 GL-11.60～-11.70m間、シルトを挟む。 GL-11.70m以深、砂質シルトを縞状に挟む。 砂は微細～細砂が主体である。 含水は中位である。 全体に若干のシルト分が混入する。 GL-14.95～-15.00m間、有機物が混じるシルトを挟む。 含水は中位で、粘性は強い。部分的に灰色を呈する。部分的に有機物が混入する。 砂の粒子は、比較的均一である。 含水は多い。 GL-16.45～-16.50m間、シルトを挟む。 部分的に微細砂が混入する。	

標準貫入試験　深度－N値図　0　10　20　30　40　50　60

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2.15		1			1/300		
2.45	1.0						
3.15		2	2	3	7/300		
3.45	7.0						
4.15		2	3	2	7/300		
4.45	7.0						
5.15		3	3	2	8/300		
5.45	8.0						
6.15		11	13	14	38/300		
6.45	38.0						
7.15		3	2	3	8/300		
7.45	8.0						
8.15		3	3	3	9/300		
8.45	9.0						
9.15		2	1	2	5/300		
9.45	5.0						
10.15		2	1	1	4/300		
10.45	4.0						
11.15		5	5	4	14/300		
11.45	14.0						
12.15		4	5	4	13/300		
12.45	13.0						
13.15		9	9	5	23/300		
13.45	23.0						
14.15		4	4	4	12/300		
14.45	12.0						
15.15		4	3	4	11/300		
15.45	11.0						
16.15		5	4	4	13/300		
16.45	13.0						
17.15		5	5	3	13/300		
17.45	13.0						
18.15		4	3	3	10/300		
18.45	10.0						
19.15		3	4	3	10/300		
19.45	10.0						
20.15		4	5	5	14/300		
20.45	14.0						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
2.15	YS3-D-2	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		11/14
2.45					
3.15	YS3-D-3	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
3.45					
4.15	YS3-D-4	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		11/18
4.45					
5.15	YS3-D-5	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
5.45					
6.15	YS3-D-6	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
6.45					
7.15	YS3-D-7	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		11/19
7.45					
8.15	YS3-D-8	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
8.45					
9.15	YS3-D-9	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
9.45					
10.15	YS3-D-10	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		11/20
10.45					
11.15	YS3-D-11	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
11.45					
12.15	YS3-D-12	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
12.45					
13.15	YS3-D-13	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
13.45					
14.15	YS3-D-14	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
14.45					
15.15	YS3-D-15	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
15.45					
16.55	YS3-D-16	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		11/21
16.65					
17.15	YS3-D-17	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
17.45					
18.15	YS3-D-18	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
18.45					
19.15	YS3-D-19	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
19.45					
20.15	YS3-D-20	-	土粒子 含水比 粒ふる 粒沈降		
20.45					